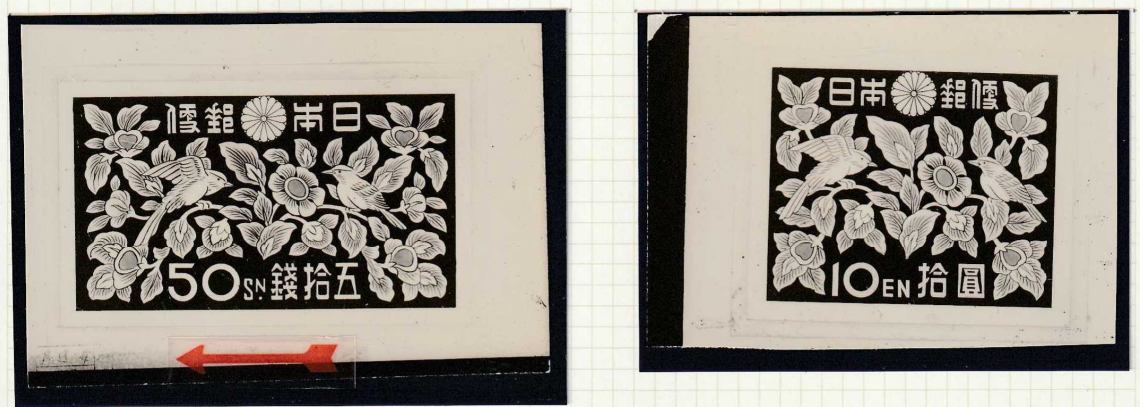
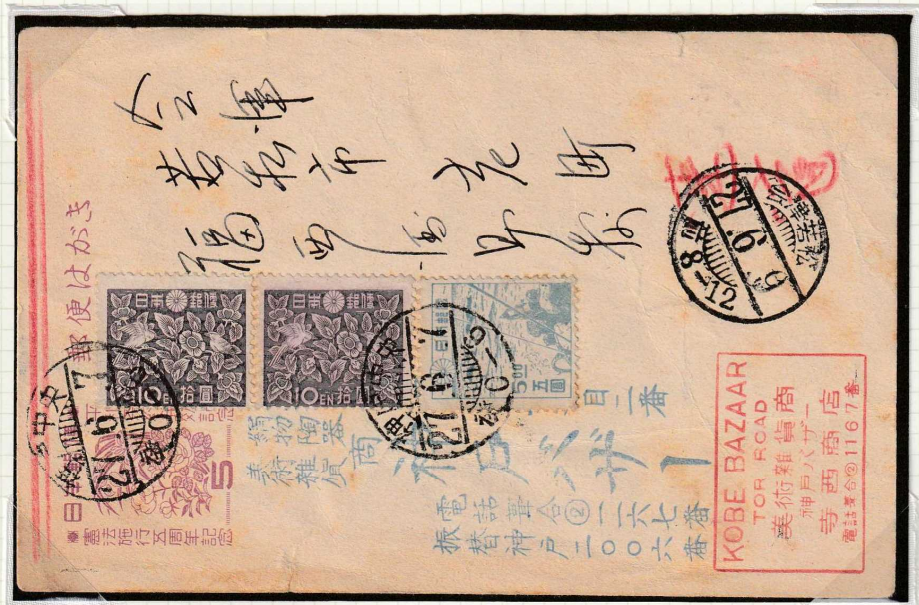


第2次新昭和切手「螺鈿模様」

川原 啓一郎



このフォトエッセイの左側は、それまでの切手同様に国名等が右書きで額面が 50 銭、さらに発行された 10 円の横螺鈿より更に横長である。写真の左下余白には薄くて読みにくいが「鼎造作品」とあり、原作者の加曾利鼎造の作品であることを示しているようだ。右側の写真は発行された図案とほぼ同じであるが、単に横幅を短くしただけでなく図案も手を入れてバランスをとっている。元々の図案は正倉院宝物とあるが、単に写しとっただけでなく縦横比などを考えて図案を手直ししている。なお第 3 次昭和切手の 10 円縦螺鈿の図案も又手直しされている。切手の図案に採用した元々の宝物を見てみたいものだ。



昭和 27 年 5 月に発行された「平和条約発効・憲法 5 周年」記念はがき 5 円に当時の速達料金 25 円分を、10 円螺鈿 2 枚と 5 円捕鯨の切手で適正料金貼りとしている。神戸で昭和 27 年 6 月 7 日午後差し立てられ、会津若松には 9 日午前に着している。